

## 4082 ママチャリ日本縦断の旅：大江天主堂から富岡港へ

海岸線の道路ばかりではない。山間にも入る。

上り坂は、ママチャリを押して、その日の体調に合わせて、歩いて上る。

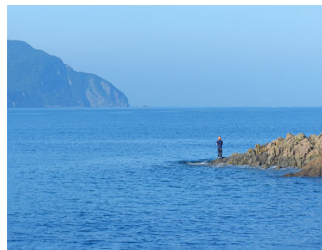
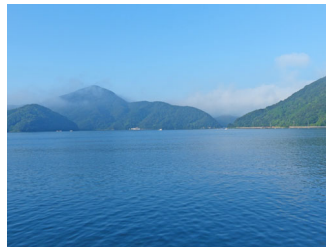
姿勢が変わり、いろいろな筋肉も使う。インナーマッスル。

おかげさまで、<sup>よわい</sup>齢は経たが、肩こりもなし。長期の旅。筋肉貯金は、難しい状況だが・・・

旅の途上では、心身、体からのサインは、特に、気を配っている。

海辺に、アクセスできそうな場所では、フットワーク良く、海水にも触れる。

崎津港の翌朝の光景、素敵だったので、今一度。



やがて、大江天主堂の道路標示。しばらく行くと、山手に見えた。

さてどうしたものか。行きたいが、行くべきか、否か。いささか疲れてきている。  
しかし、ここまで来たのだから、ここで帰るのはいかがか、との思い。無理と背伸びは禁物。

また、という日は期待しない。待ったなし。言い訳なし、と言い聞かせる。

そして、到達。頑張ってよかったと、自画自賛。腹の足し、体の足し、心の足し。

いささか、滑稽な話だが、年齢を積み重ねても、いつまでも未熟で、人間が出来ていない。

そうだと、認めると、気持ちが軽くなる。そして、再び、海岸線へ。

